

2025年12月14日 待降節 第三主日礼拝次第
アドヴェント第3主日礼拝

前 奏 (黙想)
点 火 242(主を待ち望むアドヴェント)3節
招きの言葉 ペトロの手紙二3章 8~9節(新約439番)
讃美歌 240(主イエスは近いと)
主の祈り <A>(讃美歌93-5)
詩編交誦 詩85編1~14節(交誦詩編97番)
聖書 イザヤ書40章1~11節(旧約1123番)
祈 祷
讃美歌 237(聞け、荒れ野から)
説教 「主は羊飼いとして」田中雅弘牧師
讃美歌 467(われらを導く)
信仰告白 使徒信条<A>(讃美歌93-4)
献金
讃美歌 88(こころに愛を)
派遣祝福
後 奏 (黙想)
報 告
※讃美歌は原則として全節を歌います

主の祈りA(讃美歌21 93-5-A)

天にまします我らの父よ、ねがわくはみ名をあがめさせたまえ。
み国を来らせたまえ。みこころの天になるごとく 地にもなさせたまえ。
我らの日用の糧を、今日も与えたまえ。
我らに罪をおかす者を 我らがゆるすごとく、我らの罪をもゆるしたまえ。
我らをこころみにあわせず、悪より救い出したまえ。
国とちからと栄えとは 限りなくなんじのものなればなり。 アーメン。

聖書 イザヤ書40章1~11節

帰還の約束

1 慰めよ、わたしの民を慰めよと
あなたたちの神は言われる。
2 エルサレムの心に語りかけ
彼女に呼びかけよ
苦役の時は今や満ち、彼女の咎は償われた、と。
罪のすべてに倍する報いを
主の御手から受けた、と。
3 叫びかける声がある。
主のために、荒れ野に道を備え
わたしたちの神のために、荒れ地に広い道を通せ。
4 谷はすべて身を起こし、山と丘は身を低くせよ。
険しい道は平らに、狭い道は広い谷となれ。
5 主の栄光がこうして現れるのを
肉なる者は共に見る。
主の口がこう宣言される。
6 叫びかけよ、と声は言う。
わたしは言う、何と呼びかけたらよいのか、と。
肉なる者は皆、草に等しい。
永らえても、すべては野の花のようなもの。
7 草は枯れ、花はしぶむ。
主の風が吹きつけたのだ。
この民は草に等しい。
8 草は枯れ、花はしぶむが
わたしたちの神の言葉はとこしえに立つ。
9 高い山に登れ
良い知らせをシオンに伝える者よ。
力を振るって声をあげよ

良い知らせをエルサレムに伝える者よ。

声をあげよ、恐れるな

ユダの町々に告げよ。

見よ、あなたたちの神

10 見よ、主なる神。

彼は力を帯びて来られ

御腕をもって統治される。

見よ、主のかち得られたものは御もとに従い

主の働きの実りは御前を進む。

11 主は羊飼いとして群れを養い、御腕をもって集め

小羊をふところに抱き、その母を導いて行かれる。

主の前で断食をする布告が出された。10 そのとき、バルクは主の神殿で
巻物に記されたエレミヤの言葉を読んだ。彼は書記官、シャファンの子ゲ
マルヤの部屋からすべての人々に読み聞かせたのであるが、それは主
の神殿の上の前庭にあり、新しい門の入り口の傍らにあった。

讃美歌467

1 われらを導く 贅いの主よ、
力強い手で 旅路を守り、
そなえてください、天の糧、
命のパンを。

2 泉を開いて 渴きを癒し、
炎と雲との 柱を立てて、
行かせてください、世の旅路。
主よ、わが盾よ。

3 ヨルダンの流れを 渡るわれらの
死の恐れ碎き 導く神よ。
ほめうた歌おう 声高く、
約束の地で。

讃美歌240番

- 「主イエスは近い」と呼ぶ声がする。
闇のわざを捨て 光に歩め。
- のぼる陽のように キリストは来る。
心よ、めざめて よろこび仰げ。
- 今こそ来られる 神の小羊。
涙をぬぐって みもとにいそげ。
- 再び主イエスが 来られるその日、
恵みとゆるしに われらは生きる。
- 父・子・聖霊の ひとりの神に
賛美と栄光 とこしえにあれ。

讃美歌88番

心に愛を 豊かにみたし

日ごとのわざに つかわしたまえ

讃美歌242番

- 主を待ち望むアドヴェント 最初のろうそく灯そう
主が道を備えられた この時を守ろう
主の民よ 喜べ 主は近い
- 主を待ち望むアドヴェント 第二のろうそく灯そう
主がなされたそのように 互いに助けよう
主の民よ 喜べ 主は近い
- 主を待ち望むアドヴェント 第三のろうそく灯そう
主の恵み 照り輝き 暗闇を照らす
主の民よ 喜べ 主は近い
- 主を待ち望むアドヴェント 最後のろうそく灯そう
主はこの世に 来たりたもう 心込め 歌おう
主の民よ 喜べ 主は近い

讃美歌237

- 聞け、荒れ野からとどく声を。
「道を備えよ、主が来られる。
谷間は高く、丘は低く、
でこぼこの道は 平らになれ」。
- 見よ、草花は 枯れてしほむ。
人はみな草、野に咲く花。
この世の栄え 夢と消える。
み神の言葉は とこしえまで。
- 良いおとずれを 伝える者、
山々を行き、声をあげよ。
「よろこび歌え、シオンの民、
王なるみ神が いま来られる」。
- 主は国々の 間に立ち、
悪を正して 治められる。
羊飼いなる 主はわれらを
平和の牧場に 伴われる。